

西川やすお 後援会報

2021.3 VOL.8

討議資料

一般質問



令和3年2月24日(水) 13時15分から60分間、栃木県議会本会議にて一般質問に立ちました。

今回の質問内容は、県の魅力アップに向けて、各分野において私なりの切り口で質問していきました。

- ① 県のブランド力向上について
- ② 経済と環境の好循環について
- ③ コロナ禍における中小企業支援について
- ④ 国内回帰を見据えた企業誘致について
- ⑤ 観光立県とちぎの実現について
- ⑥ 共生社会の実現に向けた女性が活躍できる環境づくりについて
- ⑦ 時代に合った土地利用について



動画はこちら



1 「県のブランド力向上について」では、都道府県魅力度ランキングで2020年に栃木県は全国最下位にランクされました。ブランド力向上に向けて栃木県がどう取り組むのかを質問しました。



2 「経済と環境の好循環について」では、政府が宣言した2050年カーボンニュートラル(温室効果ガスの排出実質ゼロ)を目指すにあたって、脱炭素化に取り組む企業や新技術の開発に、国の予算も使って集中的に支援していく中で、栃木県も産業革命を起こすような企業や、脱炭素化の新技術が誕生するよう積極的に支援するべきではないかと質問しました。

3 「コロナ禍における中小企業支援について」では、まだ経済の回復が見えていない中で、県は更に各分野の中小企業を支援するべきではないかと質問しました。また、昼しか営業せず、営業時間短縮協力金の対象にならなかった飲食店への支援も要望しました。

4 「国内回帰を見据えた企業誘致について」では、海外に生産拠点を拡大してきた企業が、コロナ禍によって生産ラインを国内に戻し始めた中、他県との企業誘致競争になっています。栃木県の産業団地の魅力や企業のメリットなど、どんな方法で優位性を出していくのかを質問しました。

5 「観光立県とちぎの実現に向けて」では、国のGoToキャンペーンや、県の県民一家族一旅行、緊急事態宣言なども踏まえ、今後どのように観光振興を図るのかを質問しました。また、国の第3次補正予算で、観光地に残る「廃屋・廃ホテルの撤去」について、新たに国は1/2補助することになりました。この千載一遇のチャンスを活かし、観光地の磨き上げをするべきではないかと質問しました。

6 「共生社会の実現に向けた女性が活躍できる環境づくりについて」では、「とちぎ生き生き企業認定」など、女性が活躍しやすい労働環境を整備する企業の増加を目指し、もっと情報発信が必要ではないかとこの質問をしました。

7 「時代に合った土地利用について」では、市街化調整区域について、地元のニーズをよく聞いて、線引きも含めて見直すべきではないかとこの質問をしました。また、国道408号と国道4号の沿線の市街化調整区域の有効利用として、道の駅や県立体育館の設置を提案しました。



安全・安心を守るための 必要な予算を確保！ とちぎ自民党議員会の政調会理事として活躍

令和2年は新型コロナウイルスの感染拡大により、外出する機会が制限され地元の皆様にお会いすることが十分に出来ませんでしたが、その分、**とちぎ自民党議員会政調会(政策を議論・決定する会議)の理事として**、政策立案に尽力して来ました。昨年夏には各種団体の皆様と業界の現状や要望について意見交換し、問題解決のための政策や予算を、令和2年度補正予算や令和3年度当初予算にて実現しました。

特に重要な部分は、**自民党政調会上乗せ分として、追加予算を要望し、要望通り満額で予算計上**されました。必要な予算を精査し優先順位を付けてうまく配分できたのではないかと考えています。

要望

主な、自民党政調会上乗せ予算要望のうち、私が担当した内容は以下の通りです。

災害からの復旧・復興を最優先課題として取り組み、 災害の未然防止に向けた危険箇所の整備にも取り組みます

令和元年の東日本台風による被害からの復旧・復興を目指し、県内各地の河川や堤防、林道・治山施設、農地・農業用施設等で復旧工事が進められています。私たちの会派は、**今後も頻発が想定される災害に備え、早期復旧と防災・減災対策の一層の推進を図るため、必要な予算を要望し積極的に取り組んでいきます。**



河川の整備について

- ・堤防強化緊急プロジェクト事業に30億円 (うち自民党上乗せ 15億円)



▶身近な生活道路の整備・補修や、 2022年とちぎ国体・とちぎ大会に向けての周辺整備を行います

県民の皆さんからの声に応え、**身近な生活道路の整備・補修を積極的に行い、さらに2022年開催予定の「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」に向けて、高速道路のICや鉄道駅から競技会場までの、道路の補修・整備や街路樹せん定など、県内外から来るお客様への「おもてなし」の気持ちを込めて整備を行っていきます。**

- ・県単公共事業費(県土整備部)約142億3700万円 (うち自民党上乗せ 14億円)



数年後、今行っている災害復旧工事や緊急防災・減災工事が完了しても、公共工事が極端に減ってしまわないよう、公共事業関連調査費(県土整備部)を毎年、予算要望し将来においても安定した県土整備工事が行えるよう努力していきます。

また、国の経済対策や国土強靱化のための工事が予算計上される際も、本県がきちんと対応できるよう、必要な工事を精査し準備してまいります。

- ・公共事業関連調査費(県土整備部)5億円 (うち自民党上乗せ分 5億円)

後援会事務所 お気軽にお寄りください!

ホームページ



<http://nishikawayasuo.com/>

Facebook



@nishikawayasuokouenkai

Instagram



@nishikawayasuo8

西川やすお 後援会事務局

栃木県さくら市
馬場296番地2

TEL028-681-1001
FAX028-682-7222

日々の活動内容はこちらからご覧ください。

討議資料